

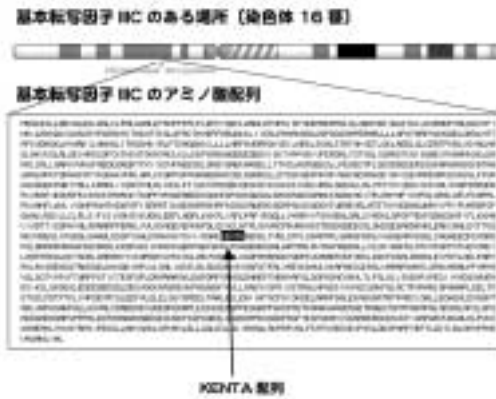
展示責任者 中井謙太

展示責任者所属
東京大学医科学研究所

生き物の細胞1つ1つの中には、その生き物を作るための情報が書かれたDNAがしまわれています。30億個のA、T、C、Gで表現されているDNAのうちでも特に重要な部分は、タンパク質を作る情報を指定している部分で、ヒトの場合、約30000個あるといわれています。タンパク質は20種類のアミノ酸からできており、そのアミノ酸にはそれぞれA、C、D、E、F、G、H、I、K、L、M、N、P、Q、R、S、T、V、W、Yのアルファベットが当てはめられています。つまり、タンパク質はこの20種類のアルファベットの並びとして、ゲノム中で指定されているのですが、その並びの中にはいろいろ面白いものが見つかります。

例えば、展示責任者の名前NAKAIという文字の並びはヒトゲノムの中にはないようですが、名前KENTAは、11カ所も見つかりました。データベースを調べてみると、このうちの一つは、基本転写因子IIIC

と呼ばれる非常に重要な働きをするタンパク質で16番染色体にあることがわかりました。
さあ、あなたもヒトゲノムに刻印された自分の名前を探してみよう!



特定領域研究ゲノム4領域

ゲノム基礎研究に主軸をおく文部科学省科学研究費の研究プロジェクト。ミレニアムプロジェクトの一環として2000年から5年計画で開始しました。4領域の構成は、多細胞生物の遺伝子システムとその進化の解明をめざす「統合ゲノム」、疾患遺伝子研究を推進し病態の分子レベルのメカニズム研究を進める「ゲノム医科学」、微生物を中心に細胞という階層での遺伝子システム解明に挑む「ゲノム生物学」、ゲノム情報解析技術とその基礎理論の開発研究を進めるともに関連分野からの人材流入促進の受皿を目指す「ゲノム情報科学」です。

全国の大学・研究機関から約300の研究室が参加しています。

「ゲノムひろば」開催関係者

◆ゲノム4領域代表者

「統合ゲノム」代表

小原雄治(国立遺伝学研究所生物遺伝資源情報総合センター・教授)

「ゲノム医科学」代表

菅野純夫(東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター・助教授)

「ゲノム生物学」代表

小笠原直教(奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科・教授)

「ゲノム情報科学」代表

高木利久(東京大学大学院新領域創成科学研究科・教授)

◆ゲノム4領域「ゲノムひろば」担当

福岡:久原哲(九州大学大学院農学研究院・教授)

京都:小笠原直教(奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科・教授)

東京:美宅成樹(名古屋大学大学院工学研究科応用物理学専攻・教授)

総合:加藤和人(京都大学人文科学研究所・助教授)

◆ゲノム4領域「社会との接点委員会」

委員長:吉川 寛(JT生命誌研究館・顧問)

位田隆一(京都大学大学院法学研究科・教授)

三輪史郎(財)沖中記念成人病院研究所・理事長)

加藤和人および4領域代表

◆ゲノム4領域「広報委員会」

委員長:高木利久(東京大学大学院新領域創成科学研究科・教授)

中井謙太(東京大学医科学研究所・助教授)

五條掘孝(国立遺伝学研究所生命情報・DDBJ研究センター・教授)

美宅成樹および4領域代表

